

科目区分	専門基礎分野	授業科目	病態治療学Ⅳ (脳神経・神経筋・運動器)
講師名	木村 宣彦、大下 智彦 生田 陽彦	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1 単位 (30 時間)	開講年次	1 年次 前期後半～後期
授業概要 * 講師からのメッセージ			
目的: 生命をつかさどる各器官の疾病要因・発生機序、経過および治療方法を理解できる。 目標: 1. 脳神経疾患の病態生理、検査と治療、処置について理解する。 2. 運動器疾患の病態生理、検査と治療について理解する。			
回	授業内容		
1～3	脳神経	1. 脳血管障害 統計疫学 1) 主な症状とその病態生理 ・症状と病態生理 ①意識障害 ②高次機能障害 ③運動性機能障害 ④感覚機能障害 ⑤反射性運動の障害 ⑥頭蓋内圧亢進症上と脳ヘルニア ⑦頭痛 ⑧自律神経障害 ・検査と所見 2) 疾患と治療 ①くも膜下出血(原因、診断、治療(再破裂予防)、再破裂) ②未破裂動脈瘤 ③脳出血(脳内出血)④脳梗塞 ⑤もやもや病 ⑥TIA ・発生機序 ・病型(アテローム血栓性脳梗塞、ラクナ梗塞、塞栓症による脳梗塞、心原性・その他)・発生頻度・症状・検査・治療(超急性期、急性期、慢性期、外科的治療) 2. 脳腫瘍1)分類と発生頻度 2)症状 3)治療	
4～5		3. 頭部外傷 1) 頭がい骨骨折 2) 局所脳挫傷(急性硬膜外血腫、急性硬膜下血腫、慢性硬膜下血腫) 4. 脳髄液の異常 1) 正常性水頭症 5. 頸椎疾患 1) 頸椎損傷	
6	神経筋疾患	6. 末梢神経障害(多発ニューロパチー、ギランバレー症候群、各種神経障害等)	
7		7. 筋疾患(筋ジストロフィー(DMD・BMD)、多発性筋炎、重症筋無力症)	
8		8. 脱髄・変性疾患 1) 多発性硬化症 2) パーキンソン病 3) ALS	
9		9. 脳神経系の感染症 1) 脳炎(ヘルペス) 2) 髄膜炎(細菌性・結核性) 3) HIV脳症 4) クロイツフェルトヤコブ病 5) 破傷風	
10	運動器	10. 認知症 1) アルツハイマー型認知症 2) 血管性認知症 3) レビー小体型認知症	
11		1. 骨折 1) 骨折の分類(外傷性骨折、病的骨折、疲労骨折、屈曲骨折、せんだん骨折、捻転骨折、圧迫骨折等) 2) 骨折治癒の病態生理・診断・治療 ①救急処置、②骨折治療の原則(整復、固定、リハビリ)③観血的整復固定術 3) 各種骨折 ①鎖骨骨折 ②肋骨骨折 ③上腕骨骨折 ⑥大腿骨近位部骨折 ⑦大腿骨骨幹部骨折 ⑧脊椎骨折(頸椎以外)	
12		2. 脱臼 3. 捻挫 4. 打撲	
13		5. 筋・腱・靭帯などの損傷 6. 下肢帯の疾患 1) 扁平足 2) 外反母趾 7. 神経損傷 1) 脊髄損傷 2) 末梢神経損傷 ①分類 ② 診断	
14 15 (45分)		3) 脊椎疾患(内因性要因) 8. 骨腫瘍 1) 良性腫瘍 2) 悪性腫瘍 ①骨肉腫 ②転移性骨腫瘍 4) 良性軟部腫瘍①脂肪腫 ②血管腫	
		8. 炎症性疾患 1) 化膿性脊椎炎 2) 肩関節周囲炎 3) 痛風	
		9. 関節の変性疾患 1) 変形性股関節症 2) 変形性膝関節症	
	10. 骨粗しょう症 1) 病態 2) 症状 3) 検査 4) 治療		
試験	終了試験 45分		
授業方法	講義		
評価方法	100点満点 45分		
テキスト	医学書院: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[7] 脳・神経 医学書院: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[10] 運動器		
備考			